

## 「京都認知症総合センター」の開設について ～ 全国初！認知症の“ワンストップ” サービス提供拠点 ～

平成30年3月16日  
京都府高齢者支援課  
電話 075-414-4593

京都府では、認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現を目指しています。

この度、一人ひとりの状態に応じた適時・適切なサービスを“ワンストップ”で提供する全国初の施設として「京都認知症総合センター」が、宇治市内に開設されますので、お知らせします。

本センターは、「医療支援」「初期支援」「在宅支援」「施設入所サービス」の4つの機能を備え、認知症の初期から重度まで、馴染みの場所で馴染みのスタッフから継続した支援を受けることができ、京都府が施設整備費に対する補助を行い、社会福祉法人悠仁福祉会が開設するものです。

もの忘れ外来（クリニック）と常設型認知症カフェは、3月26日（月）から、認知症グループホームや認知症対応型デイサービス等については、4月1日（日）にオープンし、竣工式が3月21日（祝・水）に行われますので、御取材についてよろしくお願ひします。

### 京都認知症総合センターの概要



<b>1 設置場所</b>	京都府宇治市宇治里尻 36-35
<b>2 設置主体</b>	社会福祉法人 <small>ゆうじんふくしかい</small> 悠仁福祉会
<b>3 構造・面積</b>	鉄筋コンクリート造・地上4階建、延床面積 1,362.60 m <sup>2</sup>
【1階】	もの忘れ外来（クリニック）、認知症対応型デイサービス ショートステイ（10室）※
【2階】	常設型認知症カフェ 訪問看護ステーション、訪問介護ステーション 特別養護老人ホーム（40室）※
【3階】	認知症グループホーム（9室）
【4階】	認知症グループホーム（9室）
	※ は併設の特別養護老人ホーム（ヴィラ鳳凰）の一部を認知症専門施設として活用
<b>4 開設日</b>	もの忘れ外来、常設型認知症カフェ 平成30年3月26日（月） その他の施設 4月1日（日）

医療支援・在宅支援

初期支援

在宅支援

施設入所サービス

施設入所サービス

施設入所サービス

### 竣工式

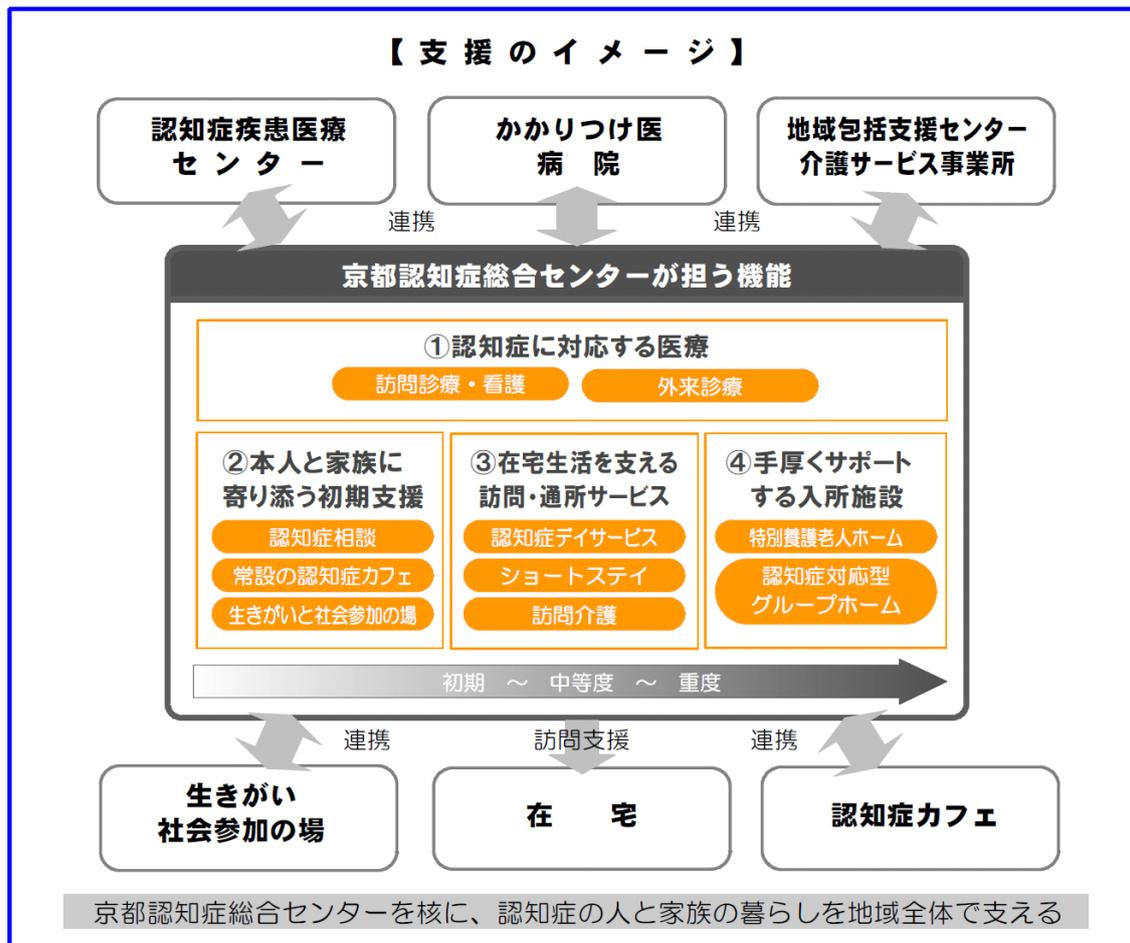
・日時	平成30年3月21日（祝・水）10:00～11:00		
・場所	京都認知症総合センター 2階カフェ		
・内容	主催者あいさつ	（福） <small>ゆうじんふくしかい</small> 悠仁福祉会	理事長 <small>ただ たかひさ</small> 武田 隆久
	来賓祝辞	京都府知事 <small>やまだ けいじ</small> 山田 啓二	
		京都府議会議長 <small>むらた まさはる</small> 村田 正治	
		宇治市長 <small>やまもと</small> 山本 正	
	テープカット等		
・主催者	社会福祉法人 <small>ゆうじんふくしかい</small> 悠仁福祉会		

※ 竣工式後に内覧会（関係者向け）を予定



## 京都認知症総合センターの特徴

- 認知症の人や家族に寄り添い、一人ひとりの状態に応じた適時・適切なサービスを“ワンストップ”で提供する全国初の施設です。
- 急速な高齢化が進行する中、認知症の初期から重度まで、馴染みの場所で、馴染みのスタッフから継続した支援を受けられることで、大きな安心につながります。
- 地域の中核施設として、宇治市、地元医師会、認知症疾患医療センター、地域包括支援センター、介護サービス事業所、認知症の人と家族の会等、幅広い関係機関・団体と連携し、認知症の人と家族の暮らしを地域全体で支えます。



## 認知症に関する相談・診療（クリニック）

- 専門の医師が、もの忘れ外来や往診、症状に応じた専門外来等の診療を行います。

区分	内容
もの忘れ外来 (月～土・午前)	神経内科による認知症の相談・診療や鑑別診断など
専門外来 (月～金・午後)	精神科による行動・心理症状に応じた診療など



もの忘れ外来（クリニック）

## 常設型認知症カフェにおける初期支援

- 専任のコーディネーターを配置し、一人ひとりの希望に応じた先進的なプログラムを提供するとともに、既存の認知症カフェや地域の様々な団体等と連携し、社会参加や生きがいづくりを支援します。

(初期支援プログラムの例)

音楽療法	懐かしいと感じる曲を聴く、合唱する、楽器で演奏するなど、音楽を通して、楽しみながら症状の改善を図る療法。
園芸療法	ガーデニングによる土や草花、人とのふれあいを通して、ストレスの軽減や意欲の向上等を図る療法。(3階「園芸コーナー」で実施)
回想法	過去の懐かしい思い出を語り合うことで、認知機能の改善を図る療法。
コグニサイズ	運動と脳のトレーニング(計算・しりとり等)を同時に行うことにより、認知機能の維持・改善を図るプログラム。

- 多目的室やキッチン、展示コーナーなどを併設し、認知症の人や家族・支援者の様々な交流・活動の場としてご利用いただけます。



常設型認知症カフェ



多目的室



キッチン

## かかりつけ医等との連携による在宅支援

- 医療や介護サービスが必要な方については、かかりつけ医やケアマネジャー、介護サービス事業所等と連携して、在宅での生活を支援します。

## 手厚いケアが受けられる入所施設

- 認知症グループホーム(認知症対応型共同生活介護・18室)では、家庭的な雰囲気の中で、認知症ケアの専門スタッフから、食事や入浴などの生活支援や機能訓練等を受けることができます。



認知症グループホーム

- また、症状が重くなった方に対しては、特別養護老人ホーム(認知症専門・40室)において、より手厚い介護サービスを提供します。

## 今後について

- 京都府では、総合センターと同様に、認知症の初期から重度までのサービスを提供する「認知症ケアセンター」の整備を進めており、今後、こうした取り組みを、府内各圏域に広げていきます。